

## 令和5年度 地域きずな座談会 ⑥

- 1 日 時 令和6年2月28日(水)
- 2 場 所 三沢市国際交流教育センター
- 3 出席者 北園、堀口、南山、さつきヶ丘  
(住民10名、三沢介護支援センター1名、三沢市介護福祉課2名、社協4名)
- 4 懇談記録

### ■地域の現状・よいところ

- ・世帯数は増えてきている。町内会、寺子屋等も活発である。
- ・スポーツセンターや、買い物もができる場所が近くにあり良い地域である。
- ・スーパー、コンビニができて生活環境が好転してきている。
- ・世帯数は増えている。アパートも増えている。一部のアパートでは町内会費は家賃と一緒に集金されており、町内会へ振り込まれる仕組み。アパートでゴミ箱を設置しており、管理会社で管理している。
- ・限られた区域なので世帯数の増減はないが、町内会員は年々減ってきている。若い人後継者がいないため町内会維持とゴミの収集等に苦戦している。
- ・民生委員の活動は必ず2人、複数で行うようにしてもらっている。町内会長のところに民生委員が時々相談に来るが、お互い情報交換にもなり助かっている。

### ○町内会について

- ・月1回、5~10分ほどだが、班長さんに集まってもらい状況報告会をしている。子どもと一緒に参加することで親と子を確認できる。その中で役員をやってくれそうな方に、一年間何もできなくても大丈夫と声を掛け、少しずつ世代交代をしていきたいと考えている。
- ・班長手当、連絡員手当等を出している。高齢になって班長をやれなくなった人も、班長をやるなら町内会に入らないという若い人もいて対応が様々大変である。
- ・町内会加入世帯数は現在170程。若い人は出ていく人が多く、役員のつながりはあるが、住民同士の近所付き合いは薄い。数年前から総会時に夕食を出すようになってから、参加者が少し増えた。
- ・総会時、参加者に商品券を配っているが、だんだん参加人数が増えてきた。町内会の世帯数は減っている。以前あった罰金制度を無くした。
- ・市営住宅の入れ替わりはある。各棟に会長が一人ずついて、町内会では副会長をしてもらっている。
- ・以前は防犯灯も町内会管理で電球の交換も町内会費から出していたが、今は市で負担している。何か困りごとがあった時は声に出していけば少しずつ変わっていく。

## ■地域の交流・集いの場

- ・新年会、防災訓練、盆踊り、8月のラジオ体操は子供、保護者、高齢者と参加者が多い。
- ・新年会は大人の飲み会のようなイメージがあり、アルコールの有無を検討。一度ノンアルコールで開催したが、ないと寂しいという声があり、今回はアルコール有で開催。  
→ただし、子どもも楽しめるようにということで、子どもの遊び場を作った。子どもには好評だった。子どもは楽しめる場所とわかれば集会所にも来たくなるのではないか。
- ・南山にはみみずくの会というグループがあり、週一回、手芸等をしており、情報交換の場になっている。寺子屋、老人クラブもあり、声を掛けると行事を手伝ってくれる。
- ・新しい試みとして、夏休みに子どもを対象に南山お助け塾を開催。理科研究、読書感想文、習字、防災関連でお湯でオムレツを作ることを親と子が一緒に体験する等した。初めてで人数はなかなか集まらなかったが、今後も様々なことをやっていきたい。
- ・コロナが明けてから、バス旅行を復活させた。敬老の集いは26年続いている。バーベキューの参加費は一人100円、無料だと申し込んでおいて来ないことがあるのでワンコインで開催している。参加してもらうことが第一。
- ・行事に参加する人はだいたい決まっているが、出てこない人には文書を出したり声を掛けている。体が不自由だが参加したい人もいるし、周りでサポートして参加してもらえるようにしている。
- ・児童館、老人クラブ合同で芸能発表会を開催。参加者が多く、町内会の方々がどうしたら参加者が増えるのか考えて開催したのだと思った。地域の人たちのつながりを感じた。
- ・以前は婦人会、子ども会等があり、総会、盆踊り、バーベキュー、ゲーム等様々な行事を開催していたが、準備、運営等、協力してくれる人、参加者も少なくなってきたため開催できなくなった。
- ・毎年、7月に独自のクリーン作戦を開催している。その後に町内の自主防災会で備蓄している非常食を世帯配布している。参加率は8~9割。
- ・住民が多く集まるときに、防災訓練等、大人から子どもまで参加できることをやることで、交流を深める機会になるのではないか。

## ■地域の困りごと、課題

- ・町内の人口が減って空き家が増えている。空き家対策に力を入れてほしい。

## ○町内会について

- ・町内会に加入している忙しい若者をどう取り込むか、高齢者は自然と協力してくれるが、どのようにしたら皆参加したくなるのか、どうしたら絆のある地域になるのかが課題である。
- ・役員のなり手として、定年退職した方に声を掛けるが、なかなか難しい。
- ・市からの町内会への予算をもう少し多くしてほしい。
- ・町内会の加入要請を強くしてみてもどうか。
- ・準会員制度を作ったことがあるが、今後引越す予定がある人達は正会員では入らなくなる。持ち家に住んでいる人も準会員でいいと、正会員が増えなくなる。

## ○ゴミ問題

- ・ゴミ箱の管理は町内会でしているが、町内会に加入していなくてもゴミは捨てていく。収集されないゴミは町内会役員で仕分け直している。
  - ゴミかごに鍵をつけた町内もある。結果ゴミが減った。
  - 逆に、鍵をつけるとゴミかごの横にゴミを置いて行かれカラス対策にならないこともある。
  - 町内全箇所鍵をつけるのは難しい。
- ・ゴミの収集日がわからないのか、いつの間にか大きなゴミを置いて行かれる。
- ・ごみ箱購入にあたり、規格に合っていれば、1基あたり上限40,000円（1町内会2基まで）の補助が出る。
- ・外国人不法投棄に関しては防衛のほうに相談し対応してもらった結果、不法投棄はなくなった。
- ・アパートが集まっている場所等、曜日関係なくゴミを出していたり、めちゃくちゃであったが、きれいに掃除して、ゴミかごを変えた結果、少し改善された。
- ・町内会に加入していない住民に対して、ゴミ収集の予定表とゴミかごは町内会費で賄っているため、「ゴミ箱の協力金として年間1200円いただきたい」という文書をポストに入れている。
  - 集金は班長さんの負担にならないよう、会長と役員が行っている。
  - 結果50世帯以上が協力してくれている。今まで町内会に加入していなかったアパート住民も、町内会に加入する人が出てきた。

## ■その他

- ・民生委員の活動の中で一人暮らし高齢者、体調が悪い人等と関わっていくと、サポートできているなど感じることもあれば、責任を感じることもある。
  - 困ったときは地域包括支援センター（介護福祉課）に一度連絡してほしい

- ・以前津軽方面に視察に行った際、住宅取得補助のシステムを見たが、現在、三沢市でも住宅取得支援事業助成金制度として実施されている。町内会加入が条件になっていることから、北園町内会ではここ4、5年で15、6軒分の町内会加入申請があった。
- ・きずなのデータ更新について、毎年情報の更新をしているのか。また、新規の情報等、市とも連携してしっかりやってほしい。

■避難行動要支援者名簿と個別避難計画について、介護福祉課より別紙資料にて説明。